

## **基本目標Ⅲ 質の高い学校教育の推進**

**施策 1 地域に開かれた特色ある学校づくり、信頼される  
学校づくりの推進**

**施策 2 教職員の資質の向上**

**施策 3 教育環境の整備・充実**

**施策 4 学校経営の改革推進**

**施策 5 異校種間連携や小中一貫教育の推進**

## 基本目標Ⅲ 質の高い学校教育の推進

### 施策1 地域に開かれた特色ある学校づくり、信頼される学校づくりの推進

#### —現状と課題—

北本市では、すべての小・中学校で学校協議会と外部評価委員会を設置し、外部人材の活用や保護者等との協力体制を整備しています。また、教職員による学校の自己評価と保護者等の学校関係者評価<sup>\*</sup>を実施し、学校教育の質の向上を図っています。

地域に開かれ信頼される学校を実現するためには、保護者や地域住民の意見や要望を的確に把握し、学校・家庭・地域が連携し、協力していくことが大切です。

#### ■施策の方向性

- 各小・中学校で実施している学校評価を基にした学校運営のP D C Aサイクルの充実・改善に努めます。
- 各小・中学校が家庭や地域に説明責任を果たすことにより、学校・家庭・地域の緊密な連携を推進します。

#### ■主な取組

- 学校協議会、学校外部評価委員会の効果的な活用
  - ・保護者、教職員、地域の有識者や企業、関係機関や団体の代表などで組織する学校協議会で、児童生徒の健全育成、学校教育の充実、学校・家庭・地域の連携などについて協議し、学校教育のより一層の充実と発展を図ります。
  - ・各小・中学校が、教育活動等の成果を検証し、より良い教育活動の提供や組織的・継続的な改善を図るため、学校外部評価委員会を設置し、外部評価を実施します。
- 教育課程の積極的な公開と学校・家庭・地域が一体となった教育の推進
  - ・教育課程の計画・実施・評価の段階を積極的に公開し、学校としての説明責任を果たします。
- 学校の特色を生かした学力向上・生徒指導対策の推進
  - ・地域に開かれた学校づくりのための教育環境を整えます。
  - ・豊かな心をはぐくむための体験活動の充実を図ります。
- ホームページ等を利用した情報発信の推進
  - ・小・中学校において、自校を紹介するホームページを更新します。
  - ・保護者や地域に対して学校の活動に係る情報を発信することで、学校運営の改善を図ります。



宿泊体験学習での体験活動



## 基本目標Ⅲ 質の高い学校教育の推進

### 施策2 教職員の資質の向上

#### —現状と課題—

質の高い学校教育を推進するためには、教職員の資質向上は不可欠です。しかし、教職員の大量退職時代を迎え、教員の資質向上に向け、組織としての教職員の育成が求められています。

また、教職員にとって、教職員間の交流をとおして、相互の長所を学び合い、資質の向上を図ることも重要です。

さらに、教職員の心身の健康の保持、増進も重要な課題です。

#### ■施策の方向性

- 教職員に係る多様な研修を充実させ、教職員の資質の向上を図ります。
- 教職員の人事交流を推進し、教員の資質の向上を図ります。
- 教職員事故を防止する学校風土を醸成し、学校教育の信頼を守ります。
- 児童生徒への適切な指導に資するため、教職員の適切な健康管理やメンタルヘルスの保持、増進を図ります。

#### ■主な取組

- 教職員研修の充実
  - ・各小・中学校の教職員間での研修を推進し、教職員相互の連携と授業力を高めます。
  - ・若手教職員研修や教員のライフステージに応じた研修など、教職員の年齢や経験に応じた研修を充実させ、指導力及び資質の向上を図ります。
  - ・市立教育センターにおける教職員に係る各種研修会の充実を図ります。
- 教職員の人事交流の推進
  - ・広域的かつ計画的な人事交流を推進し、教員の資質の向上を図ります。
  - ・教職員の小・中学校の人事交流や兼務を推進し、指導力の向上を図ります。
- 教職員事故防止の徹底
  - ・教職員事故防止に向けて研修会の実施やポスター作成等の啓発活動を行い、意識の向上を図ります。
  - ・教職員の倫理確立に係る委員会を活性化させ、実効性を高めます。
- 学校衛生管理の充実
  - ・衛生推進者研修会の開催等により、衛生推進者の資質の向上を図るとともに、学校における労働安全衛生管理体制の充実を図ります。

- ・教職員の健康診断結果への適切な指導、悩みを共有できる職場づくり等を推進するとともに、県などの関連機関との連携をとおして、教職員の心身の健康管理に努めます。



小中連携教職員研修

## 基本目標Ⅲ 質の高い学校教育の推進

### 施策3 教育環境の整備・充実

#### —現状と課題—

東日本大震災以後、学校の校舎等の耐震化や大規模改修による安全で学びやすい教育環境の整備が急務です。

また、ヒートアイランド現象<sup>\*</sup>や地球温暖化の防止等、環境教育の観点から、自然環境への負荷を減らす施設づくりも重要です。

さらに、経済的な理由により就学等が困難な者が無理なく就学等ができる環境づくりも重要な課題です。

#### ■施策の方向性

- 学校施設の耐震化と同時に大規模改修を実施し、安全で快適な学習環境の整備を推進します。
- 学校施設の有効活用を図ります。
- オープンスペースを活用した新しい学習形態の工夫、研究を行い、個に応じた教育を進めます。
- 経済的理由により高校や大学への進学に支障がある家庭に対して、入学準備金貸付事業<sup>\*</sup>などにより支援します。
- 幼稚園就園奨励費補助事業<sup>\*</sup>により、就学前の家庭を支援します。

#### ■主な取組

- 学校施設の耐震・大規模改修の推進
  - ・耐震性に問題がある校舎及び体育館の耐震補強工事を実施します。
  - ・老朽化の著しい校舎について、大規模改修工事を実施します。
  - ・学校施設の耐震・大規模改修の実施に伴い、空調設備の設置を推進します。
- 学校施設の有効活用の推進
  - ・放課後の教室で放課後子ども教室<sup>\*</sup>を実施します。
- オープンスペースを活用した新しい学習形態の工夫・研究
  - ・開放的な、明るい施設を用いて、子どもたちの元気な活動を活性化させます。
- 高等学校等の入学準備金貸付事業の推進
  - ・経済的な支援を必要とする家庭に対し、高校、大学等の入学金を無利子で貸し付けることで、就学の機会を得やすくします。

○幼稚園就園奨励費補助事業<sup>\*</sup>の推進

- ・幼稚園への就園に係る費用負担を軽減することで、幼児の就園を推奨します。



耐震工事及び大規模改修された体育館



改修されたトイレ



スペースを活用した憩いの場

## 基本目標Ⅲ 質の高い学校教育の推進

### 施策4 学校経営の改革推進

#### —現状と課題—

保護者や地域住民の信頼と期待に応える学校づくりを行うため、学校が自らの教育活動や学校経営を評価・公表し、それに基づく改善を一層進めることが大切です。

また、学校が様々な課題に対して、迅速かつ的確に対応するためには、学校の組織力を強化していくことが求められています。

#### ■施策の方向性

- 学校の組織体制を整備し、管理職が的確にリーダーシップを発揮します。
- 学校の教育活動や学校運営の自律的かつ継続的な改善に資するために、学校評価システムなどの充実に取り組みます。

#### ■主な取組

- 学校の組織体制の整備・充実
  - ・校長は、学校経営のビジョンを明確に提示し、教職員の共通理解のもと、リーダーシップを発揮した学校経営を推進します。
  - ・校長と教頭を中心に教職員集団をとりまとめる主幹教諭や中堅教職員などのミドルリーダーの育成を支援します。
- 学校運営に係る情報公開の推進
  - ・学校経営について、保護者等への情報発信を積極的に行います。
  - ・学校公開、学校だより、ホームページ等により、各小・中学校の様子を発信します。
- 全職員を対象にした人事評価制度の活用
  - ・様々な教育課題の解決に向けて、すべての教職員の力を結集して目指す学校像の実現を目指します。
  - ・教職員の職務遂行過程で発揮された能力、執務姿勢を正しく評価し、教職員の育成を図ります。

北本市立  北小学校

夏休みの生活目標  
規則正しく生活しよう

メインメニュー  
[学校紹介](#)  
[学校だより](#)  
[年間行事計画](#)  
[問い合わせ](#)  
[交通案内](#)  
[学校リンク](#)  
[施設開放](#)  
[学校応援団](#)  
[給食コーナーA](#)  
[給食コーナーB](#)



8月8日 夏休みの委員会活動  
植物や動物などの生き物は休みにかかわらず世話をする必要があります。

UPDRIVE  
0053333  
ACCESS  
CLEAR.jp

Get  
ADOBE® READER®

学校のホームページ



## 基本目標Ⅲ 質の高い学校教育の推進

### 施策5 異校種間連携や小中一貫教育の推進

#### —現状と課題—

少子高齢化や高度情報化が進展する現代社会において、子どもたちの力や態度にも大きな変化が見られるようになり、いわゆる「小1プロブレム<sup>\*</sup>」や「中1ギャップ<sup>\*</sup>」と呼ばれる問題や低年齢からの非行の増加、中学校での非行問題行動<sup>\*</sup>が現れてきています。

子どもには、それぞれの発達段階で経験すべき体験、行うべき課題、身に付けなければならない知識・技能があります。大人になるための適切な経験を、適切なステップを踏んで、得ていくことが必要ですが、それが達成できていない例も見られます。

#### ■施策の方向性

- 子どもたちの生きる力をはぐくみ、次の教育場面で円滑、かつ、継続的な指導が行えるように、小学校入学前における小学校と幼稚園・保育園（所）との連携、中学校と高等学校との連携等の異校種間連携を推進します。
- 児童生徒の育ちを長期的に支援するという観点や義務教育9年間で同じ方向性を目指し、児童生徒の力を継続して支えていくという学びの連続の構築という観点から、小・中学校の連携、施設分離型の小中一貫教育を推進します。

#### ■主な取組

- 異校種間連携の推進
  - ・幼稚園・保育園（所）・小学校相互、小・中学校の連携を深めることにより小1プロブレムや中1ギャップの解消を目指します。
- 義務教育9年間を見通した教育活動の推進
  - ・小・中学校で各年代での発達段階に応じた教育活動を柱に、教員の人事交流、児童生徒の交流などをおし、施設分離型の小中一貫教育を推進します。
  - ・学校・家庭・地域がそれぞれの立場から教育活動にかかわり、小・中学校における義務教育9年間をとおした指導方法の系統性を図り、児童生徒の生きる力の育成を図ります。

#### 北本市の小中一貫教育

小学校から中学校へと進学する際に、学校生活の変化に対応できないことによる問題（不登校<sup>\*</sup>や学力低下、社会ルールの不徹底等）の増加が見られます。北本市では、これらの問題の解決に向け、小・中学校の施設は別々（施設分離型）となりますが、義務教育の9カ年をとおし、発達段階に応じた総合的な教育施策を展開します。



幼・保・小の連携に係る教職員研修

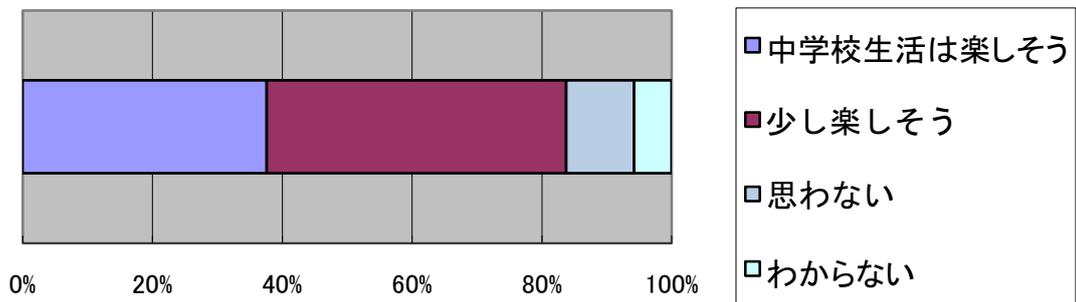


中学生が小学生に合唱を披露する  
「歌声交流会」

【中学校生活は楽しいと思いますか】

小学校6年生 アンケート結果（平成21年6月実施）

（対象：市内8小学校6年生）



中学校1年生 アンケート結果（平成21年6月実施）

（対象：市内4中学校1年生）

